

2023年度 新入生オリエンテーション

YNUリテラシー/キャリア教育

2023年 4月

高大接続・全学教育推進センター 安野舞子 / 市村光之

配布資料 2種を取り出してください

(冊子：YNUリテラシー)

(1枚の印刷物)

YNUリテラシー

アカデミック・リテラシー編



2023

YNUリテラシー教育について

横浜国立大学では、2017年度より、全学部の新入生に対してYNUリテラシー教育が導入されました。「リテラシー」とは、様々な情報を読み解き活用する能力を意味します。YNUリテラシー教育は、**大学での学びのスタートにあたり、横浜国立大学の学生として最低限おさえておくべき事柄**について、アカデミック・リテラシー、シビック・リテラシー、情報リテラシーの3つの分野に分けて実施するものです。

■ アカデミック・リテラシー

大学での学び・研究において必要となる基本的なスキル（いわゆるアカデミック・スキル）の理解および大学で学ぶ意義、大学での学びが自分の将来や人生にどうつながっていくかを考えるきっかけづくり（キャリア意識形成）。

■ シビック・リテラシー

グローバル社会の中で“良き市民”として活躍していくことを見据え、大学生として心がけていただきたい基礎的な事柄（「学生生活のモラルと規範」）、大学生としてだけでなく、一人の人として生きていくために必要となる「心の健康管理」、ジェンダーやセクシャルマイノリティ、障がい者といった「ダイバーシティ（多様性）」に関する理解、そして、海外渡航の際の安全対策と危機管理についての基礎知識の習得。

■ 情報リテラシー

大学生として知っておくべき情報倫理・情報セキュリティに関する基本的な知識の習得。

このYNUリテラシー教育は、基本的に学部教育科目の一部に組み込まれる形で実施します。どの科目でいつ（何週目に）行われるかは学部・学科・EPによって異なります。詳しくは、裏面を参照の上、該当科目の担当教員の指示に従ってください。

※共通教材について

3つのリテラシーには、それぞれ共通のテキストや動画、e-learning教材が用意されています。

<テキスト>

- ・ YNUリテラシー：アカデミック・リテラシー編
 - ・ YNUリテラシー：シビック・リテラシー編
- 充実した学生生活を送るために ～モラルと規範 事例編～

<動画>

- ・ シビック・リテラシー：こころの健康管理
- ・ シビック・リテラシー：ダイバーシティ入門：多様性と包摂を考える

< e-learning教材 >

- ・ 海外安全講習
- ・ YNU情報セキュリティ教育

テキスト「YNUリテラシー：アカデミック・リテラシー編」は新入生オリエンテーションで配布されます。その他の教材については、該当科目の担当教員の指示に従い入手してください。

横浜国立大学 高大接続・全学教育推進センター

YNUリテラシー教育について

横浜国立大学では、2017年度より、全学部の新入生に対してYNUリテラシー教育が導入されました。

「リテラシー」とは、様々な情報を読み解き活用する能力を意味します。YNUリテラシー教育は、大学での学びのスタートにあたり、横浜国立大学の学生として最低限おさえておくべき事柄について、アカデミック・リテラシー、シビック・リテラシー、情報リテラシーの3つの分野に分けて実施するものです。

■ アカデミック・リテラシー

大学での学び・研究において必要となる基本的なスキル（いわゆるアカデミック・スキル）の理解および大学で学ぶ意義、大学での学びが自分の将来や人生にどうつながっていくかを考えるきっかけづくり（キャリア意識形成）。

■ シビック・リテラシー

グローバル社会の中で“良き市民”として活躍していくことを見据え、大学生として心がけていただきたい基礎的な事柄（「学生生活のモラルと規範」）、大学生としてだけでなく、一人の人として生きていくために必要となる「心の健康管理」、ジェンダーやセクシャルマイノリティ、障がい者といった「ダイバーシティ（多様性）」に関する理解、そして、海外渡航の際の安全対策と危機管理についての基礎知識の習得。

■ 情報リテラシー

大学生として知っておくべき情報倫理・情報セキュリティに関する基本的な知識の習得。

このYNUリテラシー教育は、基本的に学部教育科目の一部に組み込まれる形で実施します。どの科目でいつ（何週目に）行われるかは学部・学科・EPによって異なります。詳しくは、裏面を参照の上、該当科目の担当教員の指示に従ってください。

YNUリテラシー

アカデミック・リテラシー編 目次

P. 1

はじめに「大学での学び」とは 01

 第1章自律的なキャリア形成：
大学での学びを構想する

1. ライフ・キャリアの視点で大学生
2. 自ら考え、行動できる主体性が求
3. キャリア関連科目を履修してみる
4. ポートフォリオを活用し、セルフ
5. キャリア・サポートルームを覗い
6. キャリアに関する本を読んでみる
7. 履修計画を立てる
〈上級生の体験談：新入生のころを振り
8. 「大学生」になる
9. 成績評価の方法、基準を知る
10. GPA 制度について
11. 授業アンケートについて

 第2章

学修・研究スキルと心得 16

1. ノートの取り方 16
2. 情報収集のしかた 17
3. 文献の読み方：批判的思考のすすめ 18
4. レポートの書き方 19
5. 学問・研究倫理について 24

 第3章

ポートフォリオの活用のしかた 25

1. YNU 学生ポートフォリオとは 25
2. 新入生の春学期、第1週目に入力すること 25
3. 新入生の秋学期以降の入力について 27

3 キャリア関連科目を履修してみる

主体的な学びの姿勢を獲得すること。それが学業充実の第一歩です。キャリア関連科目では、従来型の講義中心の授業ではなく、グループ・ディスカッション、課題解決型プロジェクト、現役社会人との対話、体験学習など

多様な手法を取り入れ、皆さんを主体的な学びに誘います。各学期で1科目を目安に、興味のある科目を履修しましょう。以下にキャリア関連科目の一部を紹介します。

高校までとは違う何か、新しいことを始めたい

- ・Wake up! プロジェクト（春学期、全学教育科目、1年対象）
- ・横浜学—地域の再発見（春学期、全学教育科目、全学年対象）

自分の将来やキャリアについて考えたい

- ・キャリアデザイン（春学期、全学教育科目、全年対象）
- ・ダイバーシティ概論：ライフキャリアの多様性（秋学期、全学教育科目、全年対象）
- ・キャリア形成論（秋学期、学部教育科目〈経済〉、2～4年対象）

現役社会人からキャリアや働く意義を学びたい

- ・経営者から学ぶリーダーシップと経営理論（春学期、全学教育科目、全学年対象）
- ・キャリア・ケーススタディ（秋学期、全学教育科目、2～4年対象）

社会人になるための基礎力を身につけたい

- ・ビジネス・コミュニケーション（秋学期、全学教育科目、2～4年対象）
- ・グローバル化と日本人（秋学期、全学教育科目、全学年対象）
- ・グローバルビジネス実践論（秋学期、学部教育科目〈経済／経営〉、2～4年対象）

キャリア関連科目の紹介

新入生が履修できる科目の例として、高大接続・全学教育推進センターで開講しているキャリア関連科目を紹介します。

▶ Wake up! プロジェクト

産業界の協力のもと、2つの企業の現実課題にチームで取り組み、企業に解決策や企画案を提案します。正解のない課題に挑み、チームで解を求める活動を通じて、大学で「主体的」に学ぶとはどのようなことか、を自己発見的に修得するのが目的です。この授業が終了するとき、これまでとは違うあなたに、きっと成長しているはずです。

▶ キャリアデザイン

自分がどのような人間なのか。世の中にはどんな仕事があってどのような仕組みで動いているのか。それらを知ることが、自律的なキャリア形成の第一歩です。さまざまなワークを通じて自分の特徴を探ったり、チームに分かれて業界や職業を調べ、レポートをまとめ発表する「職業探検」に取り組みます。

▶ 横浜学—地域の再発見

この科目は学生発案で生まれました。横浜市職員を講師に、授業の前半は横浜

7 履修計画を立てる

履修登録、単位ってなに？

多くの新生が最初に戸惑うのは履修登録ではないでしょうか。高校までは時間割が決まっていますが、大学では履修する科目は自分で選びます。もちろんすべて自由に選べるということではなく、主に1～2年次に履修する全学教育科目や語学、学部や学科・課程・教育プログラムごとに必修科目と選択科目等があります。卒業に必要な単位数やどの分野の科目をいつ、どのくらい履修しなければなら

ので、詳細は「履修案内」を

履修登録

位(科目による)とすると、下図の①のように各学期で16単位(8科目)ずつ履修すればよいことになります。

無理なく履修するには均一に毎学期8科目ずつ履修するのがよさそうですが、現実には違います。上級生になり学部教育科目が中心になると、1科目当たりの授業外学修（予習や復習）の負担も増えます。ゼミや卒論・研究も

高校までは朝から夕方までヒシッパ授業がありましたね。でも大学では一般的に文系で1日2~4科目、理系では3~5科目です。ではどのように、履修科目を選択すればよいのでしょうか。卒業に必要な単位数は124~132単位(学部等による)です。卒業単位を128単位に仮定すると、4年間で割ると1年で32単位です。1科目2単

さらに、早くくわい海外に留学したい、長期のインターシップに挑戦したい、と考える人もいるでしょう。下図の③は極端なケースですが、3年秋学期は科目を履修しないで学外活動に充てる計画で組んだ履修例です。

注：こうした履修計画が可能かどうかは学部・学科などにより異なります。
詳細は各学部の「履修案内」参照のこと。

履修登録 4月7日 ~ 20日

各学期の履修単位例





上級生の体験談 新入生のころを振り返って

皆さんの先輩たちは新入生だったとき、どんなことに戸惑い、どのように履修科目を選んだのでしょうか。全学教育科目「まなび座」を履修した上級生たちに、体験を語ってもらいました。

1年春学期、どのように履修科目を選んだか

■ 取りたい科目についてじっくり考える余裕がなかったと思います。経済学部は1年のうちは割と自由なのですが、科目のタイトルを見てもよくわからないし、シラバスを読んでもよくわからなくて、私は寮の先輩に聞いて、取らなければならない科目や興味のある科目を選びました（経済2年・女性）

■ 「履修案内」を読めば、必修で受けなければならない科目や登録の手順は分かるはず。受けたい科目がない、何を学びたいかがわからないから履修登録で戸惑うんじゃないかな？（教育3年・男性）

■ 私はまず必修や語学で時間割を埋めて、「履修案内」を読んで科目のタイトルで興味があるものを見つけて、次にWebシラバスで内容を確認して興味もてそうだったら第1回の授業に出席してみる、というやり方でした。時間はかかるけど、自力でできますよ（経営3・女性）

■ 1年のときは、履修登録という仕組みがよくわからなくて、サークルの新歓の履修テントで先輩に「素早」科目（課題など授業外の負担が少なく単位が取れる、出席しなくても単位が取れる、またはよい成績が取りやすいなど定義はさまざま）を教えてもらって選んだなあ（理工4年・男性）

■ 1年の頃はよくわからなかったけど、3年くらいになると興味もてる全学教育科目が出てくる。卒業単位のためでなく、取りたいと思える科目。それは上級生になってから取ればよいと思う（理工4年・男性）

■ 必要な科目は2種類あると思う。卒業のために必要な科目と、自分にとって学びになる科目。そこは分けて考えるべきじゃないかな（教育4年・男性）

第3章

ポートフォリオの
活用のしかた

1 YNU 学生ポートフォリオとは

学務情報システムには、皆さんが自分の学修成果を可視化 ▶ 目的に合った計画的な学修ができる

化するツールとして「YNU 学生ポートフォリオ」が利用

ポートフォリオとは、もともと

作家やカメラマンなどの「作

す。YNU 学生ポートフォリ

らの学び、日々の気づき

できるWEB上の自分専用

毎学期、履修登録の際

生プロフィール」画面が

学士力（本学の学修目標

業力（社会に出てから必

できます。さらに「振り返

新学期の取り組みを考え

を意識し、より有意義な

定期的に入力すること

年時、2年時の学士力や

比較でき、あなた自身の

蓄積した学修記録は、就職活

す材料として活用できます。1年生

フォリオの活用を習慣づけましょう。

履修登録の前に

- **学生プロフィール**入力が必要
- 所要時間：**1時間**程度
- **4/5**から入力できる
- 土日も学外から入力可
- **14日まで**に入力しておく

時記録しておくことで就職活動にも役立てられるのです。

▶ 初めてアクセスするとき

新学期が始まって、初めてアクセスする際の手順は以下 ④学生プロフィールにつながり、「緊急連絡先登録」画面がの通りです。なお、学生プロフィールの入力には、入力が必要です。入力の時間を要します。

履修登録期限間際に初めに入力に手間取り、履修登録期限切れの恐れもあります。必ず、新学期初めに学生プロフィールの入力を済ませておきましょう。

- ①学務情報システムにアクセスする
学内PCから
<https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/>
学外PC、個人のスマートフォンから
<https://matrixauthsv.ynu.ac.jp/>

- ②トップページにある「履修・成績情報」をクリックします。
③次に「履修登録」をクリックしてアクセスします。

なお、2度目以降、アクセスする際は、上記④～⑥の入力が必要で「履修登録画面」が開きます。

アクセス方法を確認する

学生プロフィールの入力内容は：

- 高校時代の学修・生活行動チェックシート
- 振り返りシート

- ✓ 高校時代の学修・生活行動パターン
- ✓ なぜ横浜国立大学に入学したのか
- ✓ 卒業後どんな道に進みたいか

学生プロフィール：毎学期始めに入力する

- 入力内容はYNU学生**ポートフォリオに蓄積**される
- 新学期の**履修構想、就活**に活用できる

学生IRニュースレターを読む（4月、10月に発行）

- 学生プロフィールの**分析結果**をフィードバック

学生の意識・行動の変化 ①

新入生に 地殻変動の兆しあり？

学生プロフィールはコロナ渦発生以来、従来の設問を中止し、遠隔授業動向を探る設問を組み込んでWithコロナ環境下の学生の皆さんの意識や行動の変化、教育課題の把握に努めてきました。それらの現状把握が一段落したことから、2022年秋季学期の学生プロフィールより、本来の目的である学生が主体的な学びに関する気づきを促すための設問中心に戻しました。今期のニュースレターはコロナ渦前の2019年度との比較を中心に、New normal環境下の皆さんの意識や行動の変化についてわかったことを紹介します。

学生IR newsletter

2023.4.5

横浜国立大学 高大接続・全学教育推進センター

企画・執筆：市村光之

34

■前向きになれない理由は

話を戻して、第1希望であるにも関わらず前向きになれないのはなぜでしょう？ それらの人に前向きになれない理由を訊いた結果を、2019年度と比較したのが図2です。

図2 前向きになれない理由：第1希望組

（1位と2位を選択。2位は0.5を乗じて、全体の比率を算出）

